令和5年度中野区自殺対策計画関連事業調査結果(基本施策・重点施策)

計画における項目	実施内容	対照頁ページ	担当部署	担当課	令和5年度実施状況	令和5年度 実施状況に対する担当部の評価	達成度(%)	今後(令和6年度以降)の実施計画	令和5年度 実施状況	令和5年度 実施状況に対する担当部の評価	達成度(%)	今後(令和6年度以降)の実施計画	令和4年度 実施状況	令和4年度 実施状況に対する担当部の評価	達成度(%)	今後(令和5年度以降)の実施計画	令和6年度 実施状況	令和6年度 実施状況に対する担当部の評価	今後(令和6年度以降)の実施計画
基本目標1　生きることの促進要因を増やす																			
基本施策1　区民への普及と啓発																			
区民を対象とした普及啓発の実施【重点施策】																			
自殺対策講演会（区民向けゲートキーパー研修）	自殺予防に求められる理解と接如について学び、自分ができることを考えよう。	P.37	健康福祉部	保健予防課	【日　時】2月1日～3月31日 【方　法】YouTube動画配信 【テーマ】「悩んでいる人にどう気づき、どうかかわるか」 【講　師】NPO法人OVAの表理事　精神保健福祉士 伊藤次郎 氏 【内　容】各10分程度の、計40分の動画配信による研修 第1部：コロナ禍での生活への影響 第2部：悩んでいる人にどう気づくか 第3部：悩んでいる人にどうかかわるか 第4部：ストレスにどう対処するか 【定　員】なし 【総アクセス数】185件	・令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染対策の観点から講演会形式での研修を中止。YouTube動画配信での研修に変更して実施。 ・令和3年度の実施方法については検討を継続していく。	継続	【日　時】令和3年4月1日～令和4年3月31日 【方　法】中野区公式YouTubeチャンネルでの動画配信 【テーマ】「悩んでいる人にどう気づき、どうかかわるか」 【講　師】NPO法人OVAの表理事　精神保健福祉士 伊藤次郎 氏 【内　容】各10分程度の、計40分の動画配信による研修 第1部：コロナ禍での生活への影響 第2部：悩んでいる人にどう気づくか 第3部：悩んでいる人にどうかかわるか 第4部：ストレスにどう対処するか 【定　員】なし 【動画再生回数】805回	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から動画配信化を検討したが、講演会形式ではない形式とし、時間や場所にとらわれない研修機会を提供することができ、より多くの区民に動画を視聴いただけた。	100%	【日　時】令和4年6月13日（火）午後7時～9時 【方　法】集合形式 【テーマ】「自分さいい」は「死にたい」～自殺に向き合う講演会～ 【講　師】作家・編集者　末井 昭氏 【内　容】 （1）講義【自殺と有無にした経過と背景 （2）自殺予防について （3）自殺者の声～ムービー （4）質疑応答 （5）まとめ （6）「死にたい」人への対応の仕方 （7）「死にたい」自分が「死にたい」と言う人とどう接してあるか 【定　員】50名 【参加人数】39名	・予約数は定員近くあったが、当日は2割減となってしまった。参加の実施できたために、当選理由が薄くなる人が多かったことが想定される。 ・参加実施の効果として、30～50歳代の若い世代の参加が多く見受けられた。 ・自殺講演の自身をテーマとし、進されたお客の思い、自殺に関する人へのインタビューを一つ見てもらう自殺の思いを聞くことができた。	100%	・令和5年度は参加者が少ないとされる若年層にアプローチするため、引き続き参加実施実施を継続する。	【日　時】令和5年9月20日(水)19時～21時 【方　法】集合形式 【テーマ】引き籠り世代が低い町に学ぶ！生きる魅力豊いまちづくり 【講　師】藤 桂　統計数理研究所　医療健康データ科学研究センター　特任准教授/客員准教授　末井 昭氏 【内　容】 （1）引籠り多い町「徳島県美波町」の地域調査で明らかになった自殺予防因子 （2）生きる魅力豊いまちづくりとは？ （3）自殺予防因子をもとに今の町でも取れそうな取組みはどこまでいけばよいか （5）次年度のこれからの研究の内容 【定　員】50名 【参加人数】21名	自殺を多角的な視点から考察できる内容であった。20代から30代の参加者が多く結果付けられたと思。専門性の高い研修であったため、参加者に偏りがあった可能性がある。中心はカウンターの電子化等の検討を行う。	区民全体へアプローチを行っていく。
普及啓発	自殺対策に関する国、東京都から来る情報および中野区の情報をホームページ、ツイッター、フェイスブック等を通じて発単く情報発信する。	P.37	健康福祉部	保健予防課	自殺対策強化月間および各種講演会等の開催時を中心に区ホームページ、区報等で情報発信を行った。また、地域団体や「地域と連携し、「ゲートキーパー4人組の応援10,000人に相談窓口リーフレットを配布した。	・自殺対策強化月間を中心に情報発信を行った。 ・庁内各部課との連携、調整が課題。	現状維持	継続	・自殺対策強化月間および各種講演会等の開催時を中心に区報・区ホームページ等で情報発信を行った。 ・区ホームページにて、「こころをいのちの相談窓口」を掲載し、電話・メール・チャットなど様々な方法で相談できる窓口を広く周知。 ・区公式フェイスブック、ツイッター等での周知。	概ね計画通りに実施できたが、自殺対策強化月間に絞め上げ部分のため、常に目に触れる入り情報を発信する必要がある。	100%	・自殺対策強化月間および各種講演会等の開催時を中心に区報・区ホームページ等での情報発信。 ・区ホームページにて、「こころをいのちの相談窓口」を掲載し、電話・メール・チャットなど様々な方法で相談できる窓口を広く周知。 ・区公式フェイスブック、ツイッター等での周知。	・自殺対策強化月間（9月・3月）に「普及啓発の展示・リーフレット配布を実施。 （1）図書館展示：東台図書館・8月28日～9月23日、中央図書館・2月25日～3月24日、図書館所蔵の自殺関連図書・啓発関連図書の展示、リーフレット等の配布 （2）区役所ロビー展示：8月30日～9月28・3月7日～10日、パネル、ポスター展示・リーフレット等の配布 （3）区内掲示板：9月・3月の各1か月間、区役所ペデストリアンデッキ （4）中野ゼロ・ゲートギャラリー「夢遥り」：9月16日～20日・3月1日～31日、パネル及びポスター・リーフレット展示 （5）区内商業施設：9月・3月の各1か月間、区役所ペデストリアンデッキ （6）区民活動センター（1・5か所） （7）地域集会所（5か所）	自殺対策強化月間（9月・3月）に「普及啓発の展示・リーフレット配布を実施。 （1）図書館展示：東台図書館・8月28日～9月23日、中央図書館・2月25日～3月24日、図書館所蔵の自殺関連図書・啓発関連図書の展示、リーフレット等の配布 （2）区役所ロビー展示：8月30日～9月28・3月7日～10日、パネル、ポスター展示・リーフレット等の配布 （3）区内掲示板：9月・3月の各1か月間、区役所ペデストリアンデッキ （4）中野ゼロ・ゲートギャラリー「夢遥り」：9月16日～20日・3月1日～31日 （5）区内商業施設：9月・3月の各1か月間、区役所ペデストリアンデッキ （6）区民活動センター（1・5か所） （7）地域集会所（5か所） なお、自殺対策強化月間における、庁内各部課および関係機関パンフレット配布を行う。 （5）産業振興センター展示　3月7日～13日 （6）区民活動センター展示　3月中	100%	・令和3年度より自殺対策強化月間以外の通常時から、自殺に対する相談窓口を周知するツールを増やすことができた。 ・更に、広報場所を拡大していく。	90%	自殺対策強化月間（9月・3月）に「普及啓発の展示・リーフレット配布を実施。 （1）図書館展示 （2）区役所ロビー展示 （3）区内掲示板 （4）区内商業施設 （5）区内公園内 （6）区内商店街	自殺対策強化月間（9月・3月）に「普及啓発の展示・リーフレット配布を実施。 （1）図書館展示：図書館所蔵の自殺関連図書・啓発関連図書の展示、リーフレット等の配布（9月図書館 8月26日～9月23日、中央図書館 2月25日～3月24日） （2）区役所ロビー展示（パネル、ポスター展示・リーフレット等の配布）：中野区役所1階区民ホール 9月7日～9月8日、3月1日～3月2日 （3）区役所庁舎内掲示：区中央線掲示板区役所区役所パルコーニーでの横断幕展示）9月・3月の各1か月間 （4）中野駅デッキ：区役所パルコ前デッキ（ペデストリアンデッキ）9月1日～9月7日、3月1日～3月7日 （5）区内公園内：区内公園内の掲示板（9月・3月の各1か月間） （6）区民活動センター（1・5か所） （7）地域集会所（5か所） なお、自殺対策強化月間における、庁内各部課および関係機関パンフレット配布を行う。 （5）産業振興センター展示　3月7日～13日 （6）区民活動センター展示　3月中	自殺対策強化月間（9月・3月）に区内各施設の展示・リーフレット配布を実施。 （1）図書館（図書館所蔵の自殺関連図書・啓発関連図書の展示、リーフレット等の配布）：中野区図書館 8月26日～9月23日、中央図書館 2月25日～3月24日 （2）区役所ロビー展示（パネル、ポスター展示・リーフレット等の配布）：中野区役所1階区民ホール 9月6日～9月8日、3月1日～3月2日 （3）区役所庁舎内掲示：区中央線掲示板区役所区役所パルコーニーの横断幕展示）9月・3月の各1か月間 （4）中野駅デッキ：区役所パルコ前デッキ（ペデストリアンデッキ）9月1日～9月7日、3月1日～3月7日 （5）区内公園内：区内公園内の掲示板（9月・3月の各1か月間） （6）区内商店街 なお、自殺対策強化月間における、庁内各部課および関係機関パンフレット配布を行う。 （5）産業振興センター展示　3月7日～13日 （6）区民活動センター展示　3月中	計画通り実施ができた。令4年度の課題に関して検討ができなかったため、次年度検討をしていく。	新区役所での普及啓発活動を検討し、実施していく。
自殺対策強化月間における普及啓発および広報活動	自殺対策強化月間において、区報特集記事掲載、本庁舎への横断幕展示、本庁舎ロビー・中野駅デッキギャラリー区内図書館での展示を実施する。	P.38	健康福祉部	保健予防課	【9月の強化月間】 横断幕展示（9月1日（火）～9月30日（水）） ロビー展示（8月24日（月）～9月28日（金）） ガードフェア（9月1日（火）～9月15日（次）） 江古田図書館展示（8月29日（土）～10月29日（木）） 中央図書館のメンタルヘルスの企画展示にあわせて実施 【3月の強化月間】（予定） 横断幕展示（3月1日（水）～3月31日（水）） ガードフェア展示（3月1日（月）～3月31日（水）） 中央図書館展示（2月27日（土）～3月25日（水）） ロビー展示は新型コロナウイルス対策のため中止 【その他】 人権週間パネル展示（12月3日（水）～12月10日（水）） ガードフェア展示に変更して実施	・令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一部実施を縮小して実施。 ・普及啓発の内容を見直す等、必要な情報、教訓の確保を図るにあわせやすく伝えていく方法の検討が必要。	現状維持	継続	自殺対策強化月間（9月・3月）に「普及啓発の展示・リーフレット配布を実施。 （1）図書館展示：東台図書館・8月28日～9月23日、中央図書館・2月25日～3月24日、図書館所蔵の自殺関連図書・啓発関連図書の展示、リーフレット等の配布 （2）区役所ロビー展示：8月30日～9月28・3月7日～10日、パネル、ポスター展示・リーフレット等の配布 （3）区内掲示板：9月・3月の各1か月間、区役所ペデストリアンデッキ （4）中野ゼロ・ゲートギャラリー「夢遥り」：9月16日～20日・3月1日～31日、パネル及びポスター・リーフレット展示	概ね計画通りに実施できたが、人目に触れる機会が多い区役所ロビー等は他施策重点の事あるいで現在の地図でなくてしまっているため、他の関係者の関係が必要。	100%	自殺対策強化月間（9月・3月）に「普及啓発の展示・リーフレット配布を実施。 （1）図書館展示 （2）区役所ロビー展示 （3）区内掲示板 （4）中野駅デッキ （5）区内公園内 （6）区民活動センター（1・5か所） （7）地域集会所（5か所）	自殺対策強化月間（9月・3月）に区内各施設の展示・リーフレット配布を実施。 （1）図書館（図書館所蔵の自殺関連図書・啓発関連図書の展示、リーフレット等の配布）：中野区図書館 8月26日～9月23日、中央図書館 2月25日～3月24日 （2）区役所ロビー展示（パネル、ポスター展示・リーフレット等の配布）：中野区役所1階区民ホール 9月7日～9月8日、3月1日～3月2日 （3）区役所庁舎内掲示：区中央線掲示板区役所区役所パルコーニーでの横断幕展示）9月・3月の各1か月間 （4）中野駅デッキ：区役所パルコ前デッキ（ペデストリアンデッキ）9月1日～9月7日、3月1日～3月7日 （5）区内公園内：区内公園内の掲示板（9月・3月の各1か月間） （6）区内商店街 なお、自殺対策強化月間における、庁内各部課および関係機関パンフレット配布を行う。 （5）産業振興センター展示　3月7日～13日 （6）区民活動センター展示　3月中	・令和3年度に比べ、普及啓発を行う場所を拡大することができた。 ・パンフレットやリーフレットを実際に手に取る方が増加し少なく場所（産業振興センター、区民活動センター）については、検証し、別の場所での啓発を検討する。	90%	自殺対策強化月間（9月・3月）に「普及啓発の展示・リーフレット配布を実施。	自殺対策強化月間（9月・3月）に区内各施設の展示・リーフレット配布を実施。 （1）図書館（図書館所蔵の自殺関連図書・啓発関連図書の展示、リーフレット等の配布）：中野区図書館 8月26日～9月23日、中央図書館 2月25日～3月24日 （2）区役所ロビー展示（パネル、ポスター展示・リーフレット等の配布）：中野区役所1階区民ホール 9月6日～9月8日、3月1日～3月2日 （3）区役所庁舎内掲示：区中央線掲示板区役所区役所パルコーニーの横断幕展示）9月・3月の各1か月間 （4）中野駅デッキ：区役所パルコ前デッキ（ペデストリアンデッキ）9月1日～9月7日、3月1日～3月7日 （5）区内公園内：区内公園内の掲示板（9月・3月の各1か月間） （6）区内商店街 なお、自殺対策強化月間における、庁内各部課および関係機関パンフレット配布を行う。 （5）産業振興センター展示　3月7日～13日 （6）区民活動センター展示　3月中	計画通り実施ができた。令4年度の課題に関して検討ができなかったため、次年度検討をしていく。	新区役所での普及啓発活動を検討し、実施していく。
基本施策2　生きることの促進要因への支援																			
困された人および支援者へのものケア【重点施策】																			
困された人および支援者への事例紹介	関係機関との情報共有および支援者と自殺事例を検討会を実施し、結果を自殺対策推進センターにて庁内共有および関係機関へのバックアップ支援する。	P.39	健康福祉部	保健予防課	未実施	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、実施回数、令和3年度以降の実施を検討する。	新規	令和3年度に発生した孤立死ケースについて、所内で事例検討を実施し、精神科医師の助言を受けた。	困難な同じようにを現場でも振り返りや心のケアが必要であり、当該検討を通して支援者のお心のケアもできた。	100%	必要時、事例検討会を開催予定。	事例が発生せず、実施なし。	未実施のため評価できず。	未実施	事例がない場合、代わりに自殺遺族のお話を聞くお時間をなくなど、事業の時を活用することを検討。	【日時】令和5年11月14日(木)3時～5時 会場1中野区保健所 参加数12名/ファシリテーター1名 【目的】対象者の自殺に対し様々な伝承している形ついている支援者へ、グリーフケアの場を設け、支援者のその保定を図る。 ・支援者の取り組り方法して、支援者としての対応を再検証し、今後の方策に活かす。	支援者の気持ちを表出する場となることができた。また今回の事例検討会の設定から開催までの時間がなかったため、事務局場所が繁雑となった。	事例がない場合、代わりに自死遺族の心を理解する研修をなど、事業の時を活用することを検討。
困された人への広報	ケガ・ケンカ・トラブルなどにより困った時などに相談窓口に連絡してもらうリーフレットを配布する。	P.39	健康福祉部	保健予防課	未実施	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、実施回数、令和3年度以降の実施を検討する。	新規	東京都の自死遺族向けリーフレットを自殺対策強化月間に配布。	自死遺族の方の手に届く方法をさらに検討する必要がある。	100%	自殺対策強化月間に自死遺族向けリーフレット（東京都福祉保健局作）を100部配布。	自殺対策強化月間に自死遺族向けリーフレット（東京都福祉保健局作）を100部配布。	今後も引き続き配布を行う。	100%	令和5年度より設置予定のおくやみ窓口での周知配布を目指す	自殺対策強化月間に自死遺族向けリーフレット(東京都福祉保健局作)を100部配布。	今後も引き続き配布を行う。	令和6年度より設置予定のおくやみ窓口での周知配布を目指す。
地域における必要な支援につなげるための取組																			
自殺対策担当者会	自殺対策に関連する庁内各部課との情報共有を通して自殺対策を推進する。	P.40	健康福祉部	保健予防課	未実施	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、実施回数、令和3年度以降の実施を検討する。	拡充	未実施。	未実施のため評価できず。	未実施	令和4年度改定の新区自殺対策の公表に向けて、計画に掲載されている関係各課の事業の進捗状況や評価を確認する。	令和4年4月27日　実施 ・全庁自殺の概況 ・現行の自殺対策計画を確認 ・計画に掲載されている事業の進捗報告 ・担当ヒカの意見聴取	・コロナ禍のため開催ができていなかったが、ようやく今年度に実施することができた。 ・計画に掲載されている事業の進捗報告に関連あり、連絡調整１回の確認が必要。	100%	令和5年度は計画改定年となるため、次期計画に掲載する内容を確認しながら進めていく。	未実施。	未実施のため評価できず。	令和6年度より、(仮)自殺対策検討会議として毎年会議を開催していく。
基本目標2　生きることの阻害要因を減らす																			
基本施策3　自殺防止に向けた取組																			
生きづらさを抱えた人への支援【重点施策】																			
生きづらさを抱えた人への広報	相談窓口リーフレットの改訂、関係機関との連携のもと配布・掲知。	P.45	健康福祉部	保健予防課	未実施	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、実施回数、令和3年度以降の実施を検討する。	新規	窓口リーフレットを適宜改定修正し、リーフレット配布以外にも区ホームページで公表。	広報の範囲をさらに拡大する必要がある。	100%	令和4年度から開設された「ひきこもり専門相談窓口」をホームページ、保健物等で周知する。	窓口リーフレットを適宜改定修正し、リーフレット配布以外にも区ホームページで公表。 特に事業の拡充ができなかった。	生きづらさの種類（性的マイノリティ、ひきこもり等）によっての相談先を記載。	80%	生きづらさの種類（性的マイノリティ、ひきこもり等）によっての相談先を記載。	窓口リーフレットを適宜改定修正し、リーフレット配布以外にも区ホームページで公表。	現状維持できた。	広報の範囲をさらに拡大していく。
区内非常用情報一覧の設置	区内の施設に利用できる緊急情報の整備、（リーフレット、ホームページ等）に掲載。	P.45	健康福祉部 社会福祉法人	保健予防課 中野区社会福祉協議会	未実施	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、実施回数、令和3年度以降の実施を検討する。	新規	情報を組織体からホームページ公開～実施し実施。	組織体の配布より、より多くの目に触れる形式となる。	100%	区内掲場所情報を適宜確認し、ホームページで公開する。	区内非常用情報を適宜確認し、ホームページで公開する。	引き続き、区内掲場所情報をホームページにて公開。	100%	継続。	区内非常用情報を適宜確認し、ホームページで公開する。	引き続き、区内掲場所情報をホームページにて公開。	継続。
未遂者支援	精神保健福祉法に基づく警察官通報内容を分析し、支援につなげ、再犯防止に向けたリーフレットの作成・配布。	P.46	健康福祉部	保健予防課	未実施	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、実施回数、令和3年度以降の実施を検討する。	新規	未実施。	未実施のため評価できず。	未実施	自殺未遂者と関わる可能性が高い警察、救急病院にヒアリングを実施。	実施。未遂者の一歩とて、当病で自殺していて「こころといのちの相談窓口」を配布。自殺未遂で対応した方へ渡していただくよう依頼。 ・病院からの未遂者の警戒については、様々な容体の患者が運ばれる中で、容易対応出来ることは難しいとの話があったため、二次救護事業面などの連絡で電くことができないため、保る必要ある。	50%	二次保健医療面の自治体にヒアリング。	未実施。	未実施のため評価できず。	未実施のため評価できず。
バックアップ体制の設備	ひきこもり、LGBT、アディクション、高齢者支援等を実施している庁内各部課、関係機関、民間団体と連携し情報共有を図る。必要時、事例検討会、ケース会議を開催し、支援体制のバックアップ等を実施し、一つ生きづらさを抱えている人への自殺対策を推進する。	P.46	健康福祉部	保健予防課	【日　時】5月 【内　容】法律問題を抱えた対象者への支援について、弁護士と スーパーバイズを依頼し、関係機関と事例検討会を 実施	継続実施に向け庁内各部課・関係機関への周知、調整が必要。	達成	継続	医療中断予防プロジェクトの設置により、精神科医師、保健師、精神保健福祉士を中心とした多職種で、地域で課題を抱えて生活している方を支援する体制を整備。	地域で把握した、医療が必要にも関わらず関がっていない、もしくは中断してしまうカケースにも多職種で関わる必要がある。	100%	医療中断予防プロジェクトの設置により、精神科医師、保健師、精神保健福祉士を中心とした多職種で、地域で課題を抱えて生活している方を支援する体制を整備。	医療中断予防プロジェクト（令和2年度～）の設置により、精神科医師、保健師、精神保健福祉士を中心とした多職種で、地域で課題を抱えて生活している方を支援する体制を整備。	医療中断予防プロジェクト（令和2年度より開始）により、精神科医師、保健師、精神保健福祉士を中心とした多職種で、地域で課題を抱えて生活している方を支援する体制を整備。	医療中断予防関禁事業（医療中断予防チーム　令和2年度より設置） 新規受理件数　第1年 事例検討件数　第7年 その他相談　延14件	100%	ケース検討会議の実施場所やケース紹介シートの改良を検討。	医療中断予防関禁事業 新規受理件数　第1年 事例検討件数　延11件 その他相談　延13件	新規受理件数が少ないため、事業の活用のしやすさを向上させる必要がある。	ケース検討会議の実施場所やケース紹介シートの改良を検討。
ひきこもり母への対応	現状の支援に加え、地域生活においてひきこもりの課題を抱え、自ら支援を求めることが困難な方に対し、家庭訪問等を通じてチームで支援を行う。	P.46	健康福祉部	保健予防課	新たに医療中断予防チームを設置、精神科医師、保健師、精神保健福祉士を中心とした多職種で、地域で課題を抱えて生活している方を支援。	・事例から出てきた地域課題を自殺対策審議会および地域精神保健連絡協議会、自殺対策協議会等等で共有し解決を図る。 ・事例を通して、医療中断予防チームの業務の見直しを図る。	達成	継続	ひきこもり支援部会が設置され、全庁的なひきこもりへの対策が検討が開始できた。	自殺対策の審議課として検討の場に参加し、引きこもり対策に自殺予防の観点を盛り込むことができた。	100%	令和4年度から開設された「ひきこもり専門相談窓口」を ホームページ、保健物等で周知する。	ひきこもり専門相談窓口（令和4年度より設置） 相談者数：70名（実）	相談者の約3割が未入から の相談となり、相談窓口として他事者に知られつつある部分は一定程度評価できる。	100%	継続。	ひきこもり専門相談窓口の継続に加え、新たにひきこもりサポーター養成講座の実施やひきこもり支援に係る応用動画、Web講座の制作を行った。	ひきこもりサポーターの登録が18名あり、医療所にスタッフとして参加するなど地域の支えとして活動した。 Web講座の制作を通じ、「ひきこもり当事にでも起こりうること」を区民へ周知できた。	継続
壮年者対策の推進【重点施策】																			
SOSの出し方に関する教育	各区立小・中学校の授業において、保健師等の地域の専門職が参画し、SOSの出し方に関する教育を教育課程に位置づけている。	P.47	子ども教育部 教育委員会事務局	指導室	SOSの出し方に関する教育をいずれかの学年で実施することを教育課程に位置づけている。区立中学校に関しては、全校女学年に30SOSの出し方に関する教育に関連した授業を実施。	・各区立小・中学校で1時間以上の実施ができた。 ・実施方法は各学校判断となるため実施状況の把握が必要。	達成	継続	SOSの出し方に関する教育をいずれかの学年で実施することを教育課程に位置づけている。区立中学校に関しては、全校女学年に30SOSの出し方に関する教育に関連した授業を実施。	・各区立小・中学校で1時間以上の実施ができた。 ・実施方法は各学校判断となるため実施状況の把握が必要。	100%	全区立小・中学校で1時間以上の実施を継続。	各区立小・中学校で1時間以上の実施を継続。 ・実施方法は各学校判断となるため実施状況の把握が必要。	各区立小・中学校で1時間以上のSOSの出し方に関する教育を実施。	100%	継続。	各区立小・中学校で1時間以上のSOSの出し方に関する教育を実施。	各区立小・中学校で1時間以上のSOSの出し方に関する教育を実施。	継続。
若年者向け啓発等	区内高校・短期大学・大学・専門学校等と連携し、学生への啓発を継続する。	P.47	健康福祉部	保健予防課	【日　時】3月～4月 【方　法】区内全学校へ「若者のいのちを支える＆ユーコロナ禍の過ごし方」（DVDの配布） 【配布先】小学校（区立・私立）、中学校（区立・都立・私立）、高等学校（区立・都立・私立）、短期大学、大学、専門学校 【その他】NPO法人ミュージュカル振興会へDVDの作成を委託して実施。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、会場での公演は実施できなかった。昨年度参加した学校より参加を拡大し、区内の学校に配布した。学校と連携して実施したことにより、直接若年層にアプローチをすることができた。	達成	継続	実施。	実施のため評価できず。	100%	若者向け啓発啓発事業を再検討。	実施。	実施のため評価できず。	未実施	若者向け啓発啓発事業を再検討。	区内大学・専門学校へ啓発啓発を継続し、出張講座を拡充する。	区内大学・専門学校へ啓発啓発を継続し、出張講座を拡充する。
若年者への広報	相談窓口リーフレットの内容を見直し、新成人および義務教育の前日での配布・掲知を行う。	P.48	健康福祉部	保健予防課	新成人に相談窓口リーフレットを配布（年1回） 義務教育終了間（区内中学年生）に相談窓口リーフレットを配布（未実施）	全新成人に個別郵送や相談窓口リーフレットを配布。今年度より新たに義務教育終了時（区内中学3年生）に相談窓口リーフレットを配布。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い実施することが困難であった。	一部実施	拡充	新成人に相談窓口リーフレットを配布（年1回） 義務教育終了時（区内中学年生）に相談窓口リーフレットを配布（年1回）	大きく環境が変わる時期に効果的な広報が行えている。	100%	・新成人に相談窓口リーフレットを配布（年1回） ・義務教育終了時（区内中学年生）に相談窓口リーフレットを配布（年1回）	・「二十歳の集い」にて相談窓口リーフレットを配布（年1回） ・義務教育終了時（区内中学年生）に相談窓口リーフレットを配布（年1回）	大きく環境が変わる時期に効果的な広報が実施できている。	100%	継続。	・「二十歳の集い」にて相談窓口リーフレットを配布(年1回) ・義務教育終了時(区内中学3年生)に相談窓口リーフレットを配布(年1回)	大きく環境が変わる時期に効果的な広報が実施できている。	継続。
自殺対策メール相談事業	自殺関連用語の検索に連動した広告を活用し、自殺のハイリスク者に対してメールによる相談を実施する。	未掲載（計画策定後開始した事業のため）	健康福祉部	保健予防課	令和2年7月から新規の事業として開始。 自殺関連用語の検索に連動した広告を活用して、自殺のハイリスク者に対してメールによる相談を実施する。	・相談実績の変化率（感情の変化・援助要請行動・援助要請意図）が40%以上を目指す。 ・新規相談者は未、全比率27%ないた、目標値を若干下回ったが、一定の自殺予防効果があった。	概ね達成	継続	相談者の変化率（感情の変化・援助要請行動・援助要請意図）が40%以上を目指しており、目標を上回る結果が得られたが、一定の自殺予防効果があった。	概ね計画通りに実施できたが、人目に触れる機会が多い区役所ロビー等は他施策重点の事あるいで現在の地図でなくてしまっているため、他の関係者の関係が必要。	89.5%	・自殺関連用語の検索に連動した広告を活用した、自殺のハイリスク者に対してメールによる相談を実施。 ・自殺関連用語の検索（実）55名 【相談者の変化率（感情の変化・援助要請行動・援助要請意図）】35.6%	相談者の変化率（感情の変化・援助要請行動・援助要請意図）が40%以上を目指しており、目標を上回る結果が得られた。 【相談者の変化率（感情の変化・援助要請行動・援助要請意図）】35.6% 【相談者の変化率（感情の変化・援助要請行動・援助要請意図）】35.6%	100%	継続。	相談者の変化率（感情の変化・援助要請行動・援助要請意図）が40%以上を目指しており、目標を上回って達成した。	【実施期間】令和5年4月1日～令和6年3月31日 【広告表示回数】Google：137,879回　YouTube：893 【広告クリック数】Google：8,668回　YouTube：893 【相談者総数（実）】918名 【相談者の変化率（感情の変化・援助要請行動・援助要請意図）】56.2%	【実施期間】令和5年4月1日～令和6年3月31日 【広告表示回数】Google：126,994件 YouTube:317,965回 【広告クリック数】Google:8,444回 YouTube:5208回 【相談者総数（実）】85名 【相談者の変化率（感情の変化・援助要請行動・援助要請意図）】44.7%	相談者の変化率（感情の変化・援助要請行動・援助要請意図）が40%以上を目指しており、目標を上回って達成した。	継続。
勤労者対策の推進																			
区内中小企業等への広報	区内中小企業等へ相談窓口リーフレットの配布および自殺対策講演会の案内を実施する。	P.49	健康福祉部	保健予防課			新規	未実施。	未実施のため評価できず。	未実施	リーフレットの配布に協力いただける企業にアプローチ。	食品関係事業者向け講習会にて働くメンタルヘルスについてのリーフレット配布を実施。	未アプローチ層にリーフレットを届けることができた。	80%	継続。	未実施。	未実施のため評価できず。	リーフレットの配布に協力いただける企業にアプローチ。
区内企業と協働してモデル事業を実施	産業振興センターにてリーフレットの配布を通じて広報活動を実施。	P.49	健康福祉部	保健予防課			新規	未実施。	未実施のため評価できず。	未実施	リーフレットの配布に協力いただける企業にアプローチ。	食品関係事業者向け講習会にて働くメンタルヘルスについてのリーフレット配布を実施。	未アプローチ層にリーフレットを届けることができた。	80%	継続。	未実施。	未実施のため評価できず。	リーフレットの配布に協力いただける企業にアプローチ。
労働関係団体と連携した広報	産業振興センター、ハローワーク、ユースコーナー、商工会議所等と連携して相談窓口を周知する。	P.49	健康福祉部	保健予防課			新規	未実施。	未実施のため評価できず。	未実施	食品関係事業者向け講習会、産業振興センター、商工会議所等へのリーフレット配布を予定。	食品関係事業者向け講習会にて働くメンタルヘルスについてのリーフレット配布を予定。	未アプローチ層にリーフレットを届けることができた。	80%	継続。	未実施。	未実施のため評価できず。	産業振興センター、商工会議所等へのリーフレット配布を予定。
勤労者が利用しやすい窓口の設置	勤労者が利用しやすい飲食店等と連携、活用し、広報活動を実施する。	P.50	健康福祉部	保健予防課			新規	未実施。	未実施のため評価できず。	未実施	リーフレット配布に協力いただける飲食店等にアプローチ。	食品関係事業者向け講習会にて働くメンタルヘルスについてのリーフレット配布を実施。	未アプローチ層にリーフレットを届けることができた。	80%	継続。	未実施。	未実施のため評価できず。	リーフレット配布に協力いただける飲食店等にアプローチ。
自殺対策を支える人材の育成																			
介護事業者向けゲートキーパー研修	区内介護事業者へのゲートキーパー研修を実施し、高齢者に対する自殺対策の推進を図る。	P.51	健康福祉部 地域支援課 地域包括ケア推進室	保健予防課 介護・高齢者支援課	【日　時】12月22日（水）18:30～20:30 【会　場】中野区役所　8・9・10会議室 【テーマ】「ゲートキーパー研修 ～明日からのケアに心気づくために～」 【講　師】地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター　精神科 心理の専門　臨床心理士　今村陽子 氏 【定　員】25名 【参加数】25名	31年度より新たに介護事業者研修として実施委託して実施。 受講者アンケートの結果のうち「今後に活用できる」と答えた人が割合で強調。	95.0%	継続	【日　時】令和3年11月30日　18:30～20:30 【会　場】オンライン研修 【テーマ】介護現場で考えるへの対応 ～高齢者へつよ認知症の理解と対応について～ 【講　師】株式会社オフェウル　代表取締役　伊藤亜記 氏 【定　員】なし 【参加数】53名	研修後アンケートで、参加者のうち「現場で実践できるか」という問に(4段階)の3点満点換算で81点的となり、概ね現場で活用できる研修となったことが伺えた。	81.8%	・介護事業者研修として実施委託して実施。 受講度は参加者のうち「今後に活用できる」と答えた人が割合とする。	【日　時】令和4年11月19日　18:30～20:30 【会　場】オンライン研修 【テーマ】オンラインへのスーストレスを幸せに変えるための作法 【講　師】株式会社オフェウル　代表取締役　末手香 氏 【定　員】なし 【参加数】39名	研修後アンケートにて、「研修内容は業務にいかせるものでしたか？」という問いに「活用できる」と回答した人が97.5%となり、現場で活用できる研修となったことが伺えた。	96.9%	継続。	【日　時】令和5年1月19日　18時30分～20時30分 【会　場】オンライン研修 【テーマ】高齢期の精神疾患を